

地域の相談を受け付けています！

当センターでは、福井新聞に教育相談等に関する記事（教育みち案内）を定期的に投稿しています。令和2年8月23日に、中学2年男子に関する記事が掲載されました。

少年の非行や問題行動、しつけ等について心配事がありましたら、お気軽にご相談ください。

教育みち案内
福井少年鑑別所統括専門官 山崎 禎員

否定せず話を聞いて

Q 中学2年男子の母親です。悔しが導くなど、
があり理由や何をしていたかと聞いても友達と遊
んでいたと言わず、詳しいことは話を聞いてくれな
りました。また、反抗期になったせいか此度も言
聞いてくれませんし、友人たちと悪いことをしてないか、
また悪いことに巻き込まれていないか心配です。

A お子さんの行動や思っていること
が分からない、交友関係が分からな
いことなどで親として不安になるのは自
然だと思います。また、そうやってお子
さんの行動に目を向けることは非行を防止す
る上でも重要なことです。

お子さんは、中学2年生という年齢
が、思春期になる目安と思えば反抗し
たり、素直かと思えば反発したりと、親
としていいたい何なのと戸惑いますし、
子ども自身にとっても学校や友人関係での
悩み、家庭での不満などを抱えがちで、こ
うしていつか分からぬ時期でも見ます。

「なぜか」「どうして」とも聞いても聞か
ず、親に言っても聞かぬという思いま
す。このように思っているときは、一歩
退き、まずは、親の気持ちを伝え、
おなごは大切な存在だと伝えてあげ、
批判や決めつけを言わずにお子さんの話を
聞く。お子さんの立場に立ち、気持ちもま
えをそのまま受け入れる、またはそのま
まを容認することが大切です。

また、お子さんの考え方や気持ちがい
たん受け入れた上で、おかしなところ、直
してほしいところがあれば、その考えや気
持ちは容認するのではなく、例え筆を
立てて「いい悪い」を言っても、
いい風な結果になるんじゃないかなと
導く考え方があれば、助言や
まごに話すことで、なだめたりす
るよりも、お子さん自身が自分の問題を素直に聞い
てくれると思います。

なかなか難しいかもしれませんが、お
子さんが話してくるのを「嬉しい」「や
りなす」「さして」「聞いています」「ごい
ん気持ちは態度で示して」を心掛けてい
たいです。当所併設の法務少年支援セン
ターでは、電話や来所による相談を
付けています。お子さんの非行や問題行動
でお困りの方は「連絡ください」。

090-7500-1000